



2台 DUO

ピアノコンサート

橋本一子 & 西山瞳

Intouchables

2025 **1/25** 土

開場 | 16:30 開演 17:00

料金 | 予約 4000 円 当日 4500 円

学生 1000 円 (予約・当日共)

カワイ名古屋2F
コンサートサロン

フール

名古屋市中区錦3-15-15
CTV錦ビル

申し込み TEL | 052 962 3939 (カワイ名古屋)

申し込み・お問い合わせ MAIL | necojazz719@gmail.com





橋本
一子

神戸生まれ。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。在学時より音楽活動を始める

1980年、YMO「テクノポリス2000-20」へのゲスト参加をはじめ、高橋悠治、高橋アキ、渡辺香津美、山下洋輔、サムルノリ、菊地成孔、手塚眞、岡野玲子、ハン・ベニング、イレーネ・シュバイツァーなど内外の多彩なアーティストとノンジャンルに共演をかさねる。

ベルリンジャズフェスティバル、NY「スウィート ベイジル」への出演など、ヨーロッパ、アメリカなど海外での演奏も高い評価を受けている。

1981年の「Colored Music」より 2018年「duo」まで、25枚のリーダーアルバムを発表している。

その他、映画やビデオのサウンドトラックや「アイフル〜チワワのくぅちゃん」のヒットをはじめ、CM音楽、アーティストプロデュース、アレンジも多数手がける。また、山田勇監督作品「アンモナイトのささやきを聞いた」への出演「フレバリーガールはお茶の時間に旅をする」(くもん出版)、「森の中のカフェテラス」(幻冬舎)の二作の小説を発表するなど、音楽以外のジャンルでも活躍。2021年7月に最新アルバム「view」をリリース。



西山
瞳

大阪生まれ。2005年、横濱ジャズプロムナード・ジャズコンペティションにおいて、自己のトリオでグランプリを受賞。

2006年、スウェーデン録音の1stアルバム『キュービウム』をアミューズよりリリースし、デビュー。2007年には、日本人リーダーとして初めてストックホルム・ジャズフェスティバルに招聘され、以降2枚のスウェーデン録音作品をリリース。2008年発表アルバム『パララックス』では、スイングジャーナル誌日本ジャズ賞にノミネートされる。

2010年、インターナショナル・ソングライティング・コンペティション(アメリカ)で、エントリー 15,000曲の中から自作曲「アンフォールディング・ユニバース」がジャズ部門で3位を受賞。

2011年発表『ミュージック・イン・ユー』では、CDジャーナル誌2011年のベストディスクに選出されるなど、芸術作品として重厚な力作であると高い評価を得る。

2015年には、ヘヴィメタルの名曲をカバーするユニットNHORHMを始動。アルバム『ニュー・ヘリテージ・オブ・リアル・ヘヴィ・メタル』は発売前よりヘヴィメタルとジャズ両面から話題になり、ジャンルを超えたベストセラーとなった。シリーズ続編3作もいずれも高評価好セールスを記録。以降、文筆活動を通じてジャズとヘヴィメタルを横断した活動を継続中。タワーレコード運営のサイトMikikiにて継続中の連載「鋼鉄のジャズ女」は同サイトで圧倒的人気を誇る。全国のジャズフェスティバルやコンサートホール、ライブハウスなどで演奏。これまでに26作品のアルバムをリリースし、いずれもジャズチャート上位にランクインを続け、文筆活動を通じてのメディアの活動も多い。

オリジナル曲は、高い作曲能力による緻密な構成とポップさの共存した、ジャンルを超えた独自の音楽を形成し、幅広い音楽ファンから支持されている。

ジャンルに囚われないトッパー
二人による音のダイアローグ

